

大学図書館における オープンアクセスの取組み

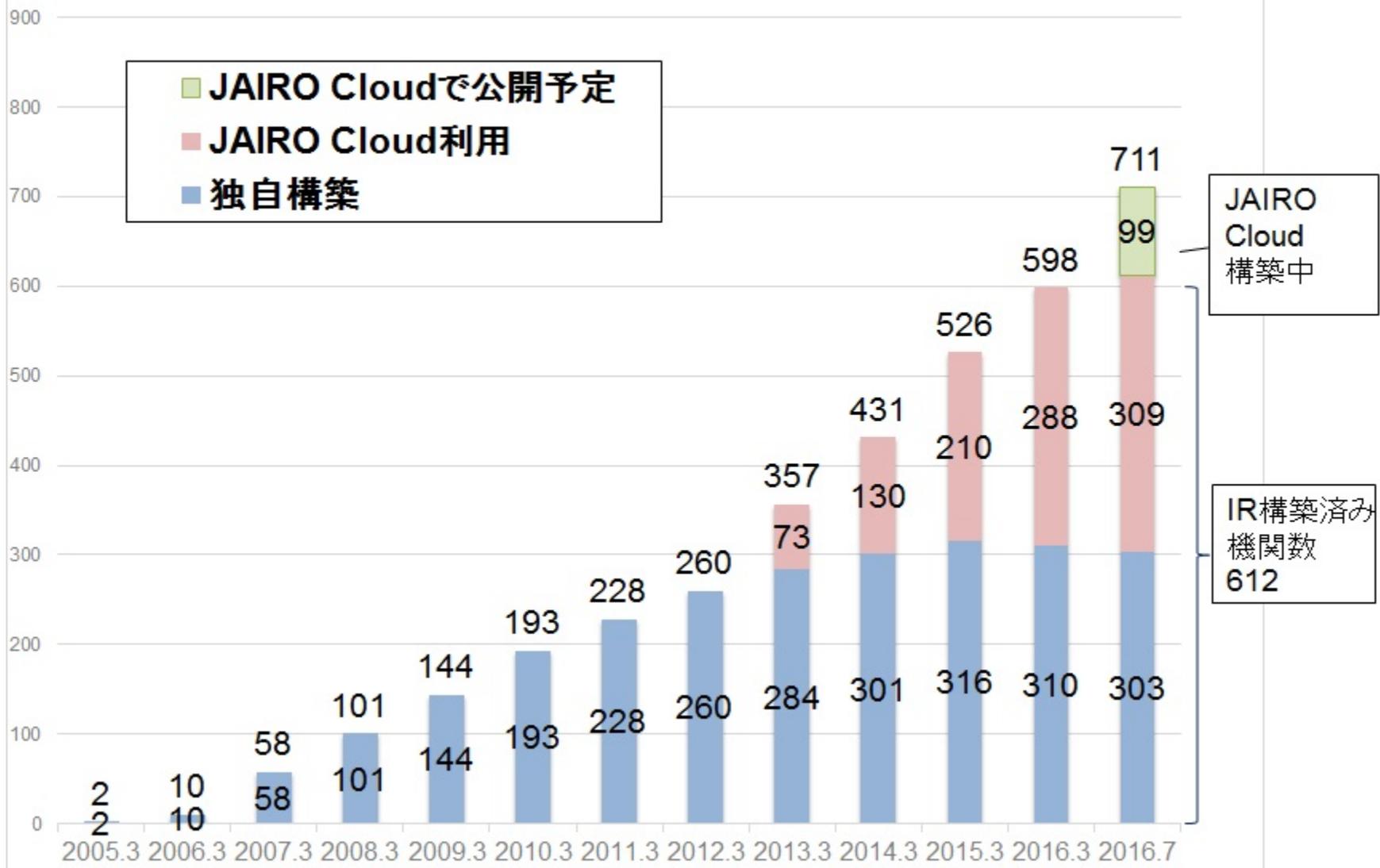


早稲田大学
WASEDA University

第1回SPARC Japan セミナー
2016年9月9日

早稲田大学図書館
荘司 雅之

機関リポジトリ 独自構築とJAIRO Cloud参加機関



<http://www.nii.ac.jp/irp/archive/statistic/>

機関リポジリのコンテンツ

IRDBコンテンツ分析

NII Institutional Repositories DataBase Contents Analysis

資源タイプ	本文あり	本文なし	小計	本文ありの割合
Journal Article(学術雑誌論文)	262,241	166,238	428,479	61.20%
Thesis or Dissertation(学位論文)	84,805	90,669	175,474	48.30%
Departmental Bulletin Paper(紀要論文)	929,779	112,687	1,042,466	89.20%
Conference Paper(会議発表論文)	31,623	95,457	127,080	24.90%
Presentation(会議発表用資料)	8,509	34,236	42,745	19.90%
Book(図書)	21,766	13,065	34,831	62.50%
Technical Report(テクニカルレポート)	31,170	4,936	36,106	86.30%
Research Paper(研究報告書)	54,857	5,683	60,540	90.60%
Article(一般雑誌記事)	52,988	15,622	68,610	77.20%
Preprint(プレプリント)	412	44	456	90.40%
Learning Material(教材)	4,301	5,450	9,751	44.10%
Data or Dataset(データ・データベース)	53,540	466	54,006	99.10%
Software(ソフトウェア)	30	8	38	78.90%
Others(その他)	207,917	19,767	227,684	91.30%
合計	1,743,938	564,328	2,308,266	75.55%

*IRDBハーベスト機関リポジトリ数: 555 (2016/07/31)

<http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php>

機関リポジトリのコンテンツ

- コンテンツ登録のためには
 - デジタル化されていない学術資料
 - 権利処理 → デジタル化 → メタデータ作成 → 登録
 - デジタル化されている学術資料
 - 権利処理 → メタデータ作成 → 登録
- 登録作業
 - セルフアーカイブ
 - 図書館員

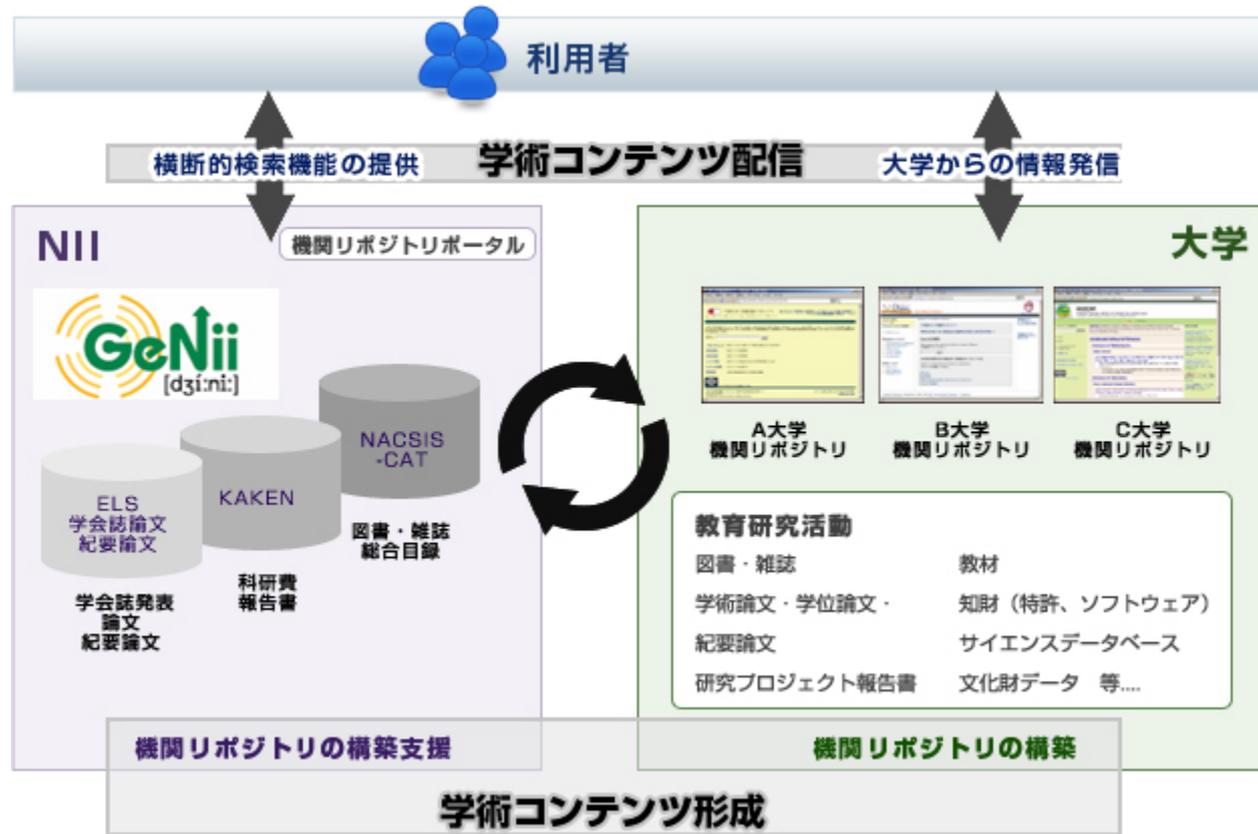
学術雑誌論文の搭載

- 査読を経た論文
- 研究者から
 - 既に出版されているのに二度手間
 - 研究者に何のメリットがあるのか
 - 校正を繰り返しているので著者最終版がどれか不明
 - 必須でない → やらない
- 図書館員も
 - それまでの図書館業務には無かった業務
 - 権利関係が難しい
 - 全てがOAにならなければ雑誌の購読は続けるしかない

機関リポジトリ発展の支援

学術機関リポジトリ構築連携支援事業

NII Institutional Repositories Program



<http://www.nii.ac.jp/irp/about/>

機関リポジトリ発展の支援

学術機関リポジトリ構築連携支援事業
NII Institutional Repositories Program



IRPC Institutional Repositories Promotion Committee
機関リポジトリ推進委員会

オープンアクセスリポジトリ推進協会
—JPCOAR : Japan Consortium for Open Access Repository—

GREEN OA

- 機関リポジトにおける雑誌論文の登録業務に関する調査(報告)
 - 平成 28 年 6 月 機関リポジトリ推進委員会 課題領域: (SCPJ 班)
<http://id.nii.ac.jp/1280/00000200/>
- 大学のオープンアクセスポリシー
 - 京都大学オープンアクセス方針(2015.4.28) 嚙矢
 - 必須でない → 必須!
- カリフォルニア大学 (University of California)
 - 全校でオープンアクセス方針を採択(2013.7.24)
 - しかし、
The U. of California's Open-Access Promise
Hits a Snag: The Faculty
([The Chronicle of Higher Education JULY 07, 2016](#))
Three years after the university system's Academic Senate approved a bold plan to make faculty research freely available, only 25 percent of professors are putting their papers in a state-created repository.